

第11回年次大会開く

日本保険医学会の中道洋前会長が講演

日本アンダーライティング協会

日本アンダーライティング協会(八束滋代表理事)は5月17日、東京都千代田区の学士会館で第11回年次大会を開催した。会場の様子はライブ配信され、同協会の年次大会としては初のハイブリッド形式での開催となった。今回は、年次大会では初となるインシュアテック部会の発表が行われた他、講習会A、講習会Bとして、日本保険医学会の中道洋前会長(第一生命)とチューリッヒ生命の佐藤和夫医師が講師となり、保険と医療査定の歴史や腫瘍マーカーの特徴について解説した。また、2月の上級資格試験合格者の表彰式では、成績優秀者上位3人によるパネルディスカッションも行われた。当日は、会場参加者とオンラインでの参加者を合わせると、140人を超える参加者が集まった。



八束氏



中道氏



佐藤氏

最初報告を行ったインシュアテック部会は、先進的な企業へのヒアリング等を通じて、情報技術を活用したアンダーライティング領域での可能性についてより深い知見を得ることを目標に2021年11月に活動を開始した組織。現在、8社10人が所属し、原則として月に1度定例会を開催している。

講習会Aでは中道氏が「疾病・医療・保険の行方」と題して講演した。1995年に保険会社に入社し、98年から査定を始めた同氏は、当時を「紙の時代」と総括し、医学情報のソースは主に

「健康」に対する認識の変化についても触れ、1946年のWHOの健康憲章では、「健康とは、疾病がないというだけでなく、身体的・心理的・社会的に完全に満足いく状態であること」と定義されていたが、これに対してオランダの医師フーバー氏らによる国際的な研究グループが2011年に、「高齢化や慢性疾患が増えている現代において1946年のWHOの定義は望ましくない結果を生む可能性がある」との懸念を示し、新たな健康の定義として「社会的・身体的・感情的問題に直面した時に困難な状況に適応し、なんとかやりくりして対処する能力」を提唱したことを挙げ、「健康」そのものに関する意識の変化にも言及した。

「健康」に対する認識の変化についても触れ、1946年のWHOの健康憲章では、「健康とは、疾病がないというだけでなく、身体的・心理的・社会的に完全に満足いく状態であること」と定義されていたが、これに対してオランダの医師フーバー氏らによる国際的な研究グループが2011年に、「高齢化や慢性疾患が増えている現代において1946年のWHOの定義は望ましくない結果を生む可能性がある」との懸念を示し、新たな健康の定義として「社会的・身体的・感情的問題に直面した時に困難な状況に適応し、なんとかやりくりして対処する能力」を提唱したことを挙げ、「健康」そのものに関する意識の変化にも言及した。

この他、主な死因や疾病の定義の変遷を紹介した同氏は「健康の定義が変化する中でも、生命保険はできるだけ幅広く引き受けることに意義がある」と述べた。

同氏はまず、臨床検査と臨検の流し、臨床検査の結果を陽性と陰性に2分割する値であるとして、その測定法等を紹介した。

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

資格試験のCBT化も報告

資格試験のCBT化も報告

資格試験のCBT化も報告

資格試験のCBT化も報告

資格試験のCBT化も報告

資格試験のCBT化も報告

資格試験のCBT化も報告



合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

合格者代表によるパネルディスカッション

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の

また、臨床検査で病期の判定や治療効果判定の